

INTERMOLD 2022 金型展2022

■主催／一般社団法人日本金型工業会・テレビ大阪

金属プレス加工技術展2022

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

2022年4月20日水 > 23日土 10:00 > 17:00
※ただし最終日は16:00まで

インテックス大阪 〒559-0034
大阪市住之江区南港北1-5-102

出展案内

金型・金属プレス加工技術の専門展 素形材産業向け展示会 **4年ぶりの大阪開催!**

素形材産業のビジネス交流を応援します。

『ものづくりの原点』

“日本の基幹産業を支える素形材産業”
最新の金型技術から金属プレス加工技術の
一貫したソリューションを提案いたします。
多くの金型メーカー、金型ユーザーが出展&来場する
貴重なビジネス交流の場となります。
中小企業の課題解決とビジネス拡充の為の
商談の場を生み出します。

技術の
DX化

内製力の
強化

外注先の
開拓

各種専門フェアを併催し、関連業界や異業種分野との
ビジネスマッチングを促進します。

鍛造加工技術フェア

精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア

熱処理・表面処理フェア

工場環境・設備ソリューションフェア

3Dプリンティングフォーラム

自動車部品製造技術フェア

航空機部品製造技術フェア

主な出展物

INTERMOLD / 金型展

- 金型製造技術 (工作機械、放電加工、切削・研削、仕上げ加工、周辺装置)
- ロボット、自動化装置、省力化装置
- 機械工具、研磨、砥石
- IoTソリューション、AI
- CAD/CAM/GAE
- 試作・モデリング
- 金型材料、鋼材、金型部品
- 精密仕上げ、バリ取り、研磨加工
- 熱処理、表面処理、表面改質
- 生産管理システム
- 3Dプリンター、アディティブマニュファクチャリング (金属積層造形、樹脂積層造形 他)
- 各種成形加工 (金属プレス加工、プラスチック成形、ゴム成形、ガラス成形、鍛造、鋳造、ダイキャスト)
- 切削工具
- ツーリング・工具保持具、治具
- 金型設計
- 測定器、計測器
- 金型、成形サンプル
- 成形材料
- 洗浄、補修、メンテナンス
- 油剤、ケミカル製品
- 各種部品加工技術など

金属プレス加工技術展

- プレス加工機
(サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、
ファインブランキング、深絞りプレス、粉末成形プレス、
冷・温・熱間鍛造プレスなど)
- 周辺機器
(トランスファーシステム、アンコイラー、レベラー、フィーダー、
安全装置、その他関連機器)
- ロボット・自動化システム
- プレス金型・プレス金型部品
- 各種金属プレス加工品・成形サンプル
- プレス加工事業者による技術PR



新型コロナウイルス感染予防対策については、政府・自治体および展示会場のガイドラインに従って実施いたします。該当時期に発表されるガイドラインに従い対策を行いますので、出展企業の皆様にはご協力をお願い申し上げます。詳しくは、政府・厚生労働省のHPをご参照ください。本展公式サイトでも情報を公開いたします。

展示会の効果を最大化する

- ▶ **オンライン展示会の開催**
- ▶ **プレイベント開催で新規顧客の集客**
- ▶ **継続的な開催告知**
- ▶ **出展企業の独自イベントとの連携**

● 展示会を開催期間中だけのイベントとしない為に

オンライン展示会のプレ/アフター開催による新規顧客の集客強化や出展情報のアーカイブ化による継続的な発信、WEBセミナー開講者への受講者リスト提供など、商談の成約率を高めるための様々な企画を行います。

また、出展企業の独自イベントと連携し、出展企業の営業企画との相乗効果を目指します。



主な来場者

INTERMOLD / 金型展

- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型、鍛造金型、鋳造金型、ダイカスト金型、ガラス金型、プラスチック金型、ゴム金型、ブロー金型、粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理
- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、公社・官公庁

金属プレス加工技術展

- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、公社・官公庁
- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型・鍛造金型・鋳造金型・ダイカスト金型・ガラス金型・プラスチック金型・ゴム金型・ブロー金型・粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理

前回大阪展 開催実績 (2018年4月)

※2020年4月の大阪展は新型コロナウイルス感染拡大の為、開催中止となりました。

開催データ

開催概要

名称	INTERMOLD 2018 (第29回 金型加工技術展) / 金型展2018 金属プレス加工技術展2018
会期	2018年4月18日(水)~ 21日(土) 10:00~17:00 (最終日は~16:00)
会場	インテックス大阪 (〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)
出展規模	380社・団体 881小間

来場者数

44,179人

■ インターモールド

31,077人

■ 金型展

6,186人

■ 金属プレス加工技術展

6,130人

■ VIP

786人

来場者の地域分類

	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
北海道地区	0.13%	0.17%	0.18%
東北地区	0.67%	0.50%	0.36%
関東地区	8.33%	6.64%	6.32%
中部地区	12.12%	12.88%	12.36%
北陸地区	2.82%	3.35%	1.66%
近畿地区	60.83%	63.63%	69.84%
中国・四国地区	9.00%	7.03%	6.09%
九州・沖縄地区	1.85%	2.23%	1.48%
海外	4.23%	3.57%	1.70%
不明	0.03%	0.01%	0.02%

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

海外来場者の地域

合計1,639人(3展合計)

韓国、中国、台湾、UAE、アメリカ、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、オーストラリア、ガーナ、カメルーン、シンガポール、スイス、タイ、チェコ、ドイツ、トルコ、ネパール、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ペルー、ポルトガル、マレーシア、メキシコ

併催企画(一部抜粋)

● 基調講演

『ダイハツ流コンパクトカーづくりの本質と進化(深化) ~経営者として学んだこと、これからへの想い~』
ダイハツ工業株式会社 取締役会長 三井 正則 氏

● 特別講演会

『自動車生産の最新事情と将来を探る』
東京大学名誉教授 中川 威雄 氏

● 特別講演・セミナー

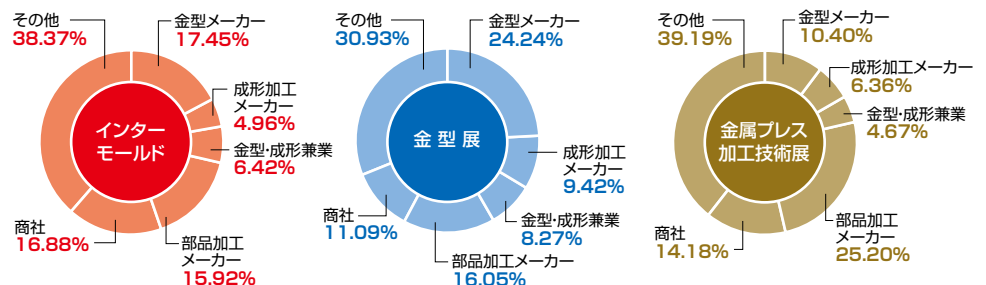
自動車部品・航空機部品関連セミナー、3Dプリンター関連セミナー、精密仕上げ・バリ取り・研磨加工関連セミナー、協賛団体関連セミナー

会場レイアウト / インテックス大阪 (2018年)



来場者業種分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示



開催概要 / 出展料金 / 申込方法

開催概要 (3展同時開催)

名称	INTERMOLD 2022 (第33回金型加工技術展) / 金型展2022	金属プレス加工技術展2022
会期	2022年4月20日(水)~23日(土) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで	
会場	インテックス大阪(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)	
主催	一般社団法人日本金型工業会 / テレビ大阪	一般社団法人日本金属プレス工業協会
運営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)	
公式サイト	http://intermold.jp	
予想来場者数	50,000人(同時開催展を含む)	
入場料	3,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)	
後援	経済産業省、外務省、大阪府、大阪市、独立行政法人日本貿易振興機構、大阪商工会議所、日本経済新聞社、独立行政法人中小企業基盤整備機構(順不同/申請予定)	
協賛	一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会(順不同/申請予定)	一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般財団法人素材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本金属熱処理工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本バルブ工業会、日本粉末冶金工業会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団(順不同/申請予定)

出展規程

出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
一般	407,000円(税込)	486,200円(税込)
※正会員・賛助会員価格は主催団体の会員のみ適用		
賛助会員	352,000円(税込)	431,200円(税込)
会員	330,000円(税込)	409,200円(税込)

角小間指定料

55,000円(税込) (1・2小間の申込者のみ対象)

特別割引制度

早期申込割引①

申込受付開始~8/31の申し込みで、出展料金を **20% OFF** します(全出展企業対象)

早期申込割引②

9/1~10/31の申し込みで **33,000円(税込)/小間 OFF** (正会員、賛助会員価格は適用外)

2021年東京展出展者割引

2021年東京展出展企業は、出展料金を **10% OFF** します(早期割引②との併用可能です。早期割引①との併用は不可。併用の場合、早期割引②を適用した額に2021年東京展出展者割引を適用します。)

申込方法

1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。
<https://www.intermold.jp/application/>

なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。
 出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。
 インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

〈重要〉重量物展示、および展示内容制限に関して

重量物を展示予定の場合は、申込の際に必ず「予定あり」とチェックをして下さい。
 また、展示会場での「危険物の持ち込み数量制限」により、加工油剤(切削・放電など)などを含む危険物・可燃性固体・液体類の展示、放電加工機または工作機械内蔵油の展示などに制限が設けられる場合がございます。
 出展を予定される場合は必ずこちらのチェックをお願いします。

2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。

小間仕様

サイズ/間口(W)約3m×奥行(D)約3m×高さ(H)2.7m(約9m²)

※Bタイプ:内寸法 間口2.93m ×奥行2.93m

単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限りです)

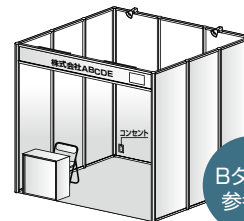
小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Bタイプ
参考例

Bタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラペット、カーペット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※Bタイプに含まれる1kWまでの電気使用料を含んでいます。

※社名板、受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。詳細は事務局までお問い合わせください。

4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込の際、出展者名を「/」でつないで登録してください。別途登録はできません。(出展者名の変更は後日可能)

申込締切日

2021年12月17日(金)

※ただし、満小間になり次第締切となります。

支払期日

請求書発行日の翌月末

- 出展申込手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。
- 出展申込手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込の取消は出来ません。

※事務局からの請求により、出展料金全額を指定の銀行口座にお振込みいただけます。

テクニカル・ワークショップ／オープンセミナー開催のご案内

プレゼンテーションセミナー（有料）

※各プレゼンテーションセミナーの受講定員については、開催時に該当する感染症予防ガイドラインに応じて設定いたします。

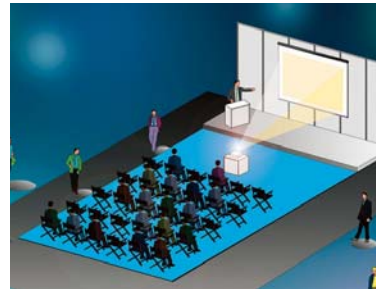
出展者の展示効果を高めるために、「出展者による新技術発表」「新製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できるセミナースペース（有料）を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込の際にセミナー開講希望欄にご記入ください。なお、開講希望の出展者には、改めて開講申込書をご提出いただけます。



テクニカル・ワークショップ

事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。

製品・技術のPRセミナーとしてだけでなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することができます。



オープンセミナー

展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

会場	インテックス大阪 展示場内特設会場
定員	約15~30名 (座席設置数。但し、立ち見も可能です)
開講料	45分/55,000円(税込)

時間延長は出来ません。

※複数のセッションを開講することも可能です。(複数開講値引き有り)
※プログラムは、事務局にて調整します。

会場	インテックス大阪 会議室または会場内特設会場
定員	40~100名程度 ※スクール形式
開講料	60分/93,500円(税込) 90分/126,500円(税込)

※プログラムは、事務局にて調整します。

テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

(2018年大阪開催 ※社名・所属・役職などは開催当時)

大昭和精機株式会社

「5軸加工機および複合加工機におけるツーリングを考える」
営業技術部 次長 高見 隆文 氏

オーエスジー株式会社

「金型加工のイノベーション」
デザインセンター加工技術グループ 課長 今泉 悦史 氏
株式会社金型コンサル 会長 左甲斐 武久 氏

ユニオン ツール株式会社

「難加工を可能にするエンドミルシリーズのご紹介」
技術本部 工具技術部 エンドミル工具開発課 課長 大崎 英樹 氏

ダイジェット工業株式会社

「難削材、お待ちしております。」
技術部技術室切削工具開発課 津曲 達也 氏

株式会社C&Gシステムズ

「工程管理システム「AIQ Ver11.1」
新バージョンのご紹介」
CAD開発部 工程管理開発課 課長 田代 勝法 氏

◆株式会社セイロジャパン

「3次元樹脂流動解析による最新の成形技術への適用」
MoldexソリューションセンターMoldex課 課長 田中 久博 氏

「橋元振動切削による磨き鏡面加工
~Cimatronを使ったヘール加工へのご紹介」
CimatronSC SEチーム 村田 浩一 氏

「金属3Dプリンタ向けソフトウェア 3DXpertを使用し
Additive Manufacturingを製造で活用していきます。」
CimatronSC 部長 池澤 俊文 氏

◆ブルーム・ノボテスト株式会社 (小間番号 6A-621)

「加工&計測の複合化と機上自由曲面計測」
技術・サービス マネージャー 高坂 斉 氏

株式会社アマダマシンツール

「高生産性・自動化に対応する研削加工機能と加工事例の紹介」
研削技術部 研削実証加工GR グループリーダー 三谷 知範 氏

「バルスモーションを活用したヘリカルギアの
冷間鍛造新工法開発」
プレス商品部 プレス販売技術GR メンバー 山本 一 氏

三菱電機株式会社

「ものづくり現場で活躍する超高精度ワイヤ放電加工機
「MP D-CUBESシリーズ」/最新技術を搭載した新型次
世代形放電加工機」
放電製造部 開発設計第一課・第二課

株式会社東京精密

「最新の三次元測定技術による射出成型品の生産効率化、
及び、高精度かつ非接触測定技術のご紹介」
計測社 営業技術室 佐保 智英 氏

株式会社牧野フライス製作所

「Professional 6 オペレータを時間のかかる作業から
解放する」

オープンセミナー 前回開講実績

(2018年大阪開催 ※社名・所属・役職などは開催当時)

三菱日立ツール株式会社

「金型加工の更なる高精度・高効率化を実現する
最新切削工具」
グローバルソリューションセンター 主任技師 城戸 好信 氏

株式会社ナノソフト

「3DQuickPressと3DSimSTAMPで変える
プレス金型設計」
大町 勝一郎 氏

株式会社JSOL

「板金プレス・鍛造シミュレーションの活用術と
事例紹介 (JSTAMP_AFDEX)」
エンジニアリングビジネス事業部 杉友 宣彦 氏

オーエスジー株式会社

「ねじ切り最新工具
ワンソリューションスレッドミル AT-1の紹介」
開発グループ 穴開け開発チーム 依田 智紀 氏

株式会社ユーロテクノ

「アリコナ社製非接触三次元測定機を用いた
革新的な工具測定」
営業チーム 泉 幸治 氏

「金型におけるガイド部品の重要性と部品選択のポイント」
営業チーム 主任 中道 浩貴 氏

コダマコーポレーション株式会社

「最新CAD/CAM活用セミナー」
「TOPprogressによるプレス金型設計・製作の効率化
事例」
小金 佑介 氏

JFE精密株式会社

「JFE精密のPVDコーティング」
技術部 部長 桜井 雅彦 氏

日工機材株式会社

「~ジェイコア~加工段差ゼロの実現」
営業部 係長 平信行 氏

「アイトロニクス“世界初フルデジタル形彫放電加工機”
のご提案。」
株式会社アイトロニクス 藤本 尚也 氏

株式会社SCREENホールディングス

「目視検査を自動化する
「車載用金属部品向け外観検査装置IM-3200・
IM-5100」のご紹介」
検査・計測事業室 営業・マーケティング課 杉本 氏 他数名

株式会社データ・デザイン

「3Dアディティブの次なるステージへ」
セールスユニット企画G マネージャー 今田 智秀 氏

柳下技研株式会社

「ELID研削法の平面研削盤への適用について」
YGテクニカルセンター ELID研削技師 一瀬 哲也 氏

株式会社テクノクラーツ

「次世代アンダーカット成形ユニット“すっぽん”」
代表取締役 反本 正典 氏

ダイジェット工業株式会社

「高効率切削加工を実現する最新切削工具」
技術部 室長 行成 伸二 氏

バルステック工業株式会社

「残留応力測定装置の原理と測定事例」
営業部 営業1課 主任 増井 貴 氏

南海鋼材株式会社

「金型・治工具への高硬度耐熱パウダーの自動肉盛り」
PPW製品開発室 山崎 貴司 氏

ベントム工業株式会社

「現場の実情に合った工程管理」
シンクビジョン株式会社 ソリューション事業部
マネージャー 地曳 淳 氏

主な出展規程

1. 出展料金等の請求と支払い、返金等について

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出演料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出演料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込のみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出演料金を含め本展示会に関する全ての支払い、返金についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立期日について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書(申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど)を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- 出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得てください。
- やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料(角小間料金含む)をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2021年9月1日～2021年12月17日	出展料金(税込)の 10%
2021年12月18日～2022年1月7日	出展料金(税込)の 50%
2022年1月8日～2022年1月31日	出展料金(税込)の 75%
2022年2月1日以降	出展料金(税込)の100%

- 出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- 事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出演料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。
 - 2022年1月31日(月)までに出演料金を完納しない場合
 - 事前申告なしに搬入日の2022年4月19日12時までに小間の使用を開始しない場合
 - 出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- 小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します(予定)。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。
- 主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出演料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名の表記は、出展者名併記の場合のみとします。

7. 出展物および展示装飾・実演に関する規制と撤去・搬出

- 小間内に出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期限内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。
- 展示ブース内の実演において、本展示会に出展していない企業の機械・製品を使用することは禁止いたします。必ず小間内出展等の手続きを行ってください。

(3)いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更へ同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。

(4)事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出演料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

(5)出展者は開催期間中、各種規程を遵守しブース運営を行うこととします。また、全期間においてブース運営責任者、またはそれに準ずる者が展示ブース、各種会場にて立ち会わなければならないこととします。原則、ブースを無人で運営することはできません。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催概要の変更または開催中止について

主催者は、天災および本項に定めるその他の不可抗力により展示会の開催が著しく困難となった場合、開催概要の大幅な変更、会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、この決定および実行により被る出展者に生じた損害や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する一切の責任を負わないものとします。

(1) 会期変更の取り扱いについて

出展申込みは、変更された会期等について有効とし、変更などを理由として出展を取消することはできません。

(2) 出演料金の返金について

主催者が展示会開催を事前または会期中に中止した時は、既納出演料金から下記に定める金額を返金します。その際、銀行振込手数料は出展者の負担とします。また、主催者が会期変更(延期)を行った場合は、既納出演料金の返金はないものとします。会期変更を行った際は、その変更した開催日程に応じた出演料金の返金規程を、主催者および事務局が設定するものとします。

中止による既納出演料金の返金割合

2021年12月31日まで	出演料金(税込)の全額返金
2022年1月1日～2022年1月31日	出演料金(税込)の65%返金
2022年2月1日～2022年2月28日	出演料金(税込)の50%返金
2022年3月1日～2022年3月31日	出演料金(税込)の35%返金
2022年4月1日～2022年4月16日	出演料金(税込)の25%返金
2022年4月17日以降	出演料金の返金はありません。

(3) 不可抗力について

戦争、暴動、反乱、内乱、テロ、火災、爆発、洪水、盗難、害意による損害、ストライキ、立入制限、天候、第三者による差止行為、国防、公衆衛生に関わる緊急事態、国または地方公共団体の行為または規制など、主催者のコントロールの及ばないあらゆる原因をいいます。

11. 日本国内への入国手続き

出展者が、本展示会への出展のため日本国内への入国手続きを必要とする場合、出展者は自己の責任において日本国内への入国手続きを行うものとし、入国審査に関わる全ての手続きならびに経費に対しては、主催者は一切の責任を負わないものとします。また、何らかの理由によりわが国に入国できないために出展申込を取り消す場合には、出展者は主催者に対し、「3. 出展申込の取消(キャンセル)」に定める規程によりキャンセル料を支払うものとします。

12. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。